



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日 東

上場会社名 エブレン株式会社 上場取引所  
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 正人  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 猛 TEL 042-646-7171  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,020	0.8	111	△23.2	110	△24.6	70	△23.2
2024年3月期第1四半期	1,012	0.9	145	△1.6	146	5.2	92	6.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 91百万円(△5.3%) 2024年3月期第1四半期 96百万円(△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	46.99	—
2024年3月期第1四半期	61.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,736	4,536	79.1
2024年3月期	5,674	4,502	79.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,536百万円 2024年3月期 4,502百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△7.6	210	△27.0	210	△27.7	140	△27.2	92.78
通期	4,100	2.8	530	9.1	530	8.1	350	5.4	231.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,536,000株	2024年3月期	1,536,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	27,053株	2024年3月期	27,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,508,947株	2024年3月期1Q	1,508,974株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、インフレの長期化及び欧米諸国での政策金利の引き上げ、それに伴う大幅な為替変動に加え、中国経済の成長鈍化、ウクライナや中東情勢をはじめとする地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明な状況が続いております。

我が国経済は、雇用・所得環境の改善の動きに加え、インバウンド需要の回復等から穏やかな回復傾向がみられました。しかしながら、中東情勢の緊迫化やウクライナ情勢の深刻化等、不安定な国際情勢による地政学リスクの影響、中国経済の景気減速、記録的な円安進行に起因する資源・原材料価格高騰に伴う物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、半導体製造装置への設備投資の凍結や延期の影響は2024年4月以降も継続しており、当社グループの主力である計測・制御分野の売上高は減少傾向で推移しました。2024年6月25日にSEAJ（日本半導体製造装置協会）より、5月の日本製半導体製造装置の販売高（3か月移動平均ベース）が前年同月比27.0%増の4,009億5,400万円となり、これで5か月連続のプラスになったと発表されました。これは中国向けレガシー装置が好調を継続、台湾や韓国向けDRAMメモリの投資再開により堅調な海外需要に加え、日本国内のJASMやキオクシア等の新工場への設備投資が影響しています。しかしながら、当社グループの顧客の在庫消化にはもうしばらく時間を要すると思われまます。

その他の分野につきましては、通信・放送分野、電子応用分野においては売上高が減少しましたが、交通関連分野は新規案件の成約を獲得したことで、売上高は増加しました。しかしながら、損益面におきましては、計測・制御分野の利益率の高い製品の売上高減少により、各段階利益とも減少となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,020百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益111百万円（前年同四半期比23.2%減）、経常利益110百万円（前年同四半期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は70百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を専業として行っており、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

#### 通信・放送 [通信・放送・電力関連]

電力分野は堅調に推移するも、メイン機種が生産が終息した通信分野と市場低迷の放送分野が大幅に減少しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比27百万円（37.4%）減の46百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の7.3%から4.5%となりました。

#### 電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

医療関連は一時的な生産調整により減少しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比6百万円（5.9%）減の111百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の11.7%から10.9%となりました。

#### 計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

半導体製造装置は中国向けレガシー装置の設備投資が増加しましたが、当社グループへの影響は少なく、また顧客の在庫増加に伴う生産調整により利益率の高い製品の出荷が減少しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比39百万円（6.2%）減の595百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の62.7%から58.3%となりました。

#### 交通関連 [鉄道・信号・ITS(高度道路交通システム、ETC等) 関連]

鉄道信号関連の新規案件の量産開始により、大幅に増加しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比65百万円（41.0%）増の224百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の15.7%から22.0%となりました。

#### 防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比16百万円（63.8%）増の43百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の2.6%から4.2%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて61百万円増加し、5,736百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて56百万円増加し、4,463百万円となりました。増加要因としては、現金及び預金72百万円、仕掛品33百万円、電子記録債権28百万円、受取手形及び売掛金15百万円の増加であります。減少要因としては、商品及び製品46百万円、原材料及び貯蔵品23百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、1,272百万円となりました。増加要因としては、繰延税金資産7百万円の増加であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、796百万円となりました。増加要因としては、営業債務の支払にでんさいを導入したことによる電子記録債務267百万円の増加、その他(未払費用)62百万円の増加であります。減少要因としては、でんさい導入による支払手形及び買掛金234百万円の減少、その他(未払消費税等)37百万円、賞与引当金35百万円の減少であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて34百万円増加し、4,536百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円であります。減少要因としては、配当金57百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、79.1%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2024年5月13日付「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました数値からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,387,146	2,459,870
受取手形及び売掛金	475,286	491,255
電子記録債権	240,489	269,408
商品及び製品	177,029	130,650
仕掛品	209,552	242,631
原材料及び貯蔵品	825,551	802,445
その他	92,787	67,658
流動資産合計	4,407,844	4,463,920
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	160,282	157,639
有形固定資産合計	871,522	868,878
無形固定資産	14,128	13,238
投資その他の資産	381,352	390,502
固定資産合計	1,267,003	1,272,619
資産合計	5,674,847	5,736,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	520,917	286,015
電子記録債務	—	267,038
未払法人税等	50,723	50,404
賞与引当金	52,328	17,120
受注損失引当金	2,426	2,857
その他	144,759	173,287
流動負債合計	771,155	796,723
固定負債		
役員退職慰労引当金	218,558	220,813
退職給付に係る負債	178,730	178,701
その他	4,074	3,600
固定負債合計	401,363	403,116
負債合計	1,172,519	1,199,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	4,173,361	4,186,932
自己株式	△26,045	△26,045
株主資本合計	4,427,325	4,440,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,205	5,520
為替換算調整勘定	69,797	90,282
その他の包括利益累計額合計	75,002	95,803
純資産合計	4,502,328	4,536,700
負債純資産合計	5,674,847	5,736,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,012,397	1,020,642
売上原価	763,314	796,592
売上総利益	249,083	224,049
販売費及び一般管理費	104,059	112,618
営業利益	145,023	111,431
営業外収益		
受取利息	912	579
受取配当金	19	25
保険解約返戻金	2,610	3,617
その他	1,966	168
営業外収益合計	5,508	4,390
営業外費用		
為替差損	4,350	5,570
営業外費用合計	4,350	5,570
経常利益	146,182	110,251
特別損失		
固定資産除却損	116	—
特別損失合計	116	—
税金等調整前四半期純利益	146,066	110,251
法人税、住民税及び事業税	62,752	47,347
法人税等調整額	△9,067	△8,006
法人税等合計	53,685	39,340
四半期純利益	92,380	70,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,380	70,910

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	92,380	70,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	941	315
為替換算調整勘定	3,541	20,485
その他の包括利益合計	4,483	20,800
四半期包括利益	96,863	91,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,863	91,711

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、産業用・工業用コンピュータのバックプレーン、バスラック、システムシャーシの設計・製造・販売を専業として行っており、単一セグメントであるため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	4,779千円	4,297千円